

# 障がいを伝えられるようになるための学習会が開催されました



笛吹市地域自立支援協議会当事者・家族部会の主催による、「障がいを伝えられるようになるため」の学習会が8月15日に笛吹市役所本館会議室にて開催されました。

障がい当事者や家族、支援者など約30人が参加し、臨床心理士の長田由布紀先生を講師に招いて自分の個性を伝える練習として、障がい当事者参加型によるロールプレイングなどが行われました。

障害者差別解消法では、障がいのある人に合理的配慮を行うことなどを通じて「共生社会」の実現を目指しており、障がい当事者が自分の障がい特性を理解し相手に伝えることはとても重要なことです。

学習会では、知らない人と話すコツとして「はじめにあいさつをする」、「なるべく相手の目を見る」、「相手と同じくらいの声の大きさで話す」、「自分の言いたいことをまとめておく」などのアドバイスをいただき、自分の好きなこと、得意なこと、苦手なことを参加者が個々に書き出し、それを相手に伝える練習を行いました。

自分の障がいを相手に伝えるには

勇気が必要で、その勇気を持つことができれば、今後の人生が豊かになり、充実した毎日を過ごすことができるはずです。

最後に講師から「ほんとうに完全な人なんていない。だから、だいじょうぶ、自分を好きでいてください」とメッセージをいただき、拍手喝采の中、学習会が終了しました。



## 問合せ先

障がい者基幹相談支援センター

☎ 055(262)1274

FAX 055(262)1276

Eメール fukushi-shien@city.

fuefuki.lg.jp